

2023年度千葉県

2兆1971億2500万円

一般会計当初予算案



日本共産党の組替えは
みなさんの願いに応え、
命・暮らしを守りぬく
提案です



傍聴された方と懇談する加藤英雄県議

加藤英雄県議は、2月議会一般質問で新年度予算案の組替えを提案。コロナ禍と、41年ぶりの物価高騰から県民の命と暮らしを守り抜く県政への転換をめざし、税金の使い方をあらためるよう求めました。

増額 提案

物価高騰・新型コロナ・災害などから県民の命と暮らしを守る	検査キット購入費用助成	3.0	抗原定性検査1000円助成、PCR検査5000円を助成、合計10万回分
	保健所体制強化	15.7	人口比全国並みにするために、必要な289人の増員
	医療機関への物価高騰対策拡充	5.1	無床診療所、歯科診療所、訪問看護ステーション、調剤薬局（合計10,268施設）へそれぞれ5万円を支援
	介護職員の待遇改善	6.2	介護3施設（620施設）に一律100万円支援
	保育士の待遇改善	11.6	補助金県負担を上限1万から1万5千円に引き上げ
	土木事務所増員	6.4	土木事務所職員を136人増員
	家畜保健衛生所	0.8	家畜保健衛生所職員を14人増員
教育負担軽減	学校給食完全無償化拡大	48.3	現制度のまま、公立学校給食無償化を第2子まで拡大
	私学施設設備費の負担軽減	32.4	年収590万未満世帯への減免
教育環境改善	教員未配置の解消	10.8	教員未配置解消のため、200人増員
	県立学校生理用品無料配布	0.04	年間2万円を衛生用品費として計上
子育て世帯支援	子ども国保の均等割りの無償化	4.7	未就学児童の国保均等割りを無償化（市町村負担なし）
	子ども医療費の無償拡大	31.0	子ども医療費を中学3年まで通院を支援

提案は予算総額のわずか0.8% 176億円
その気になれば、すぐにでも実現できます



県民の声、市民運動と力をあわせて
これからも粘り強くがんばります。
ご一緒に、暮らし、福祉を最優先する
千葉県に変えましょう

財源は、巨大道路建設など不要不急な公共事業の見直し、
圧縮、先送りで見みだせます。



組替え（増減）の
詳細はコチラ ←